

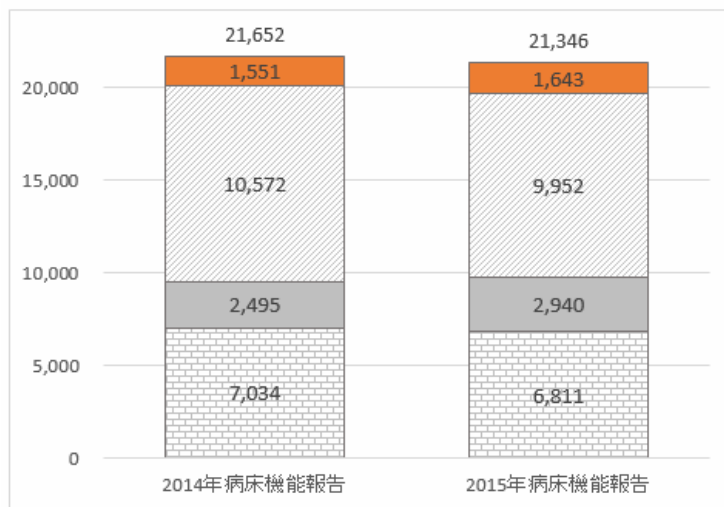
平成 27 年度病床機能報告の結果について

1. 機能別の病床数について

平成 27 年度の病床機能報告の結果をみると、平成 26 年度と比較して、急性期病床が減り、回復期病床が増えている。また、慢性期病床が減っている。

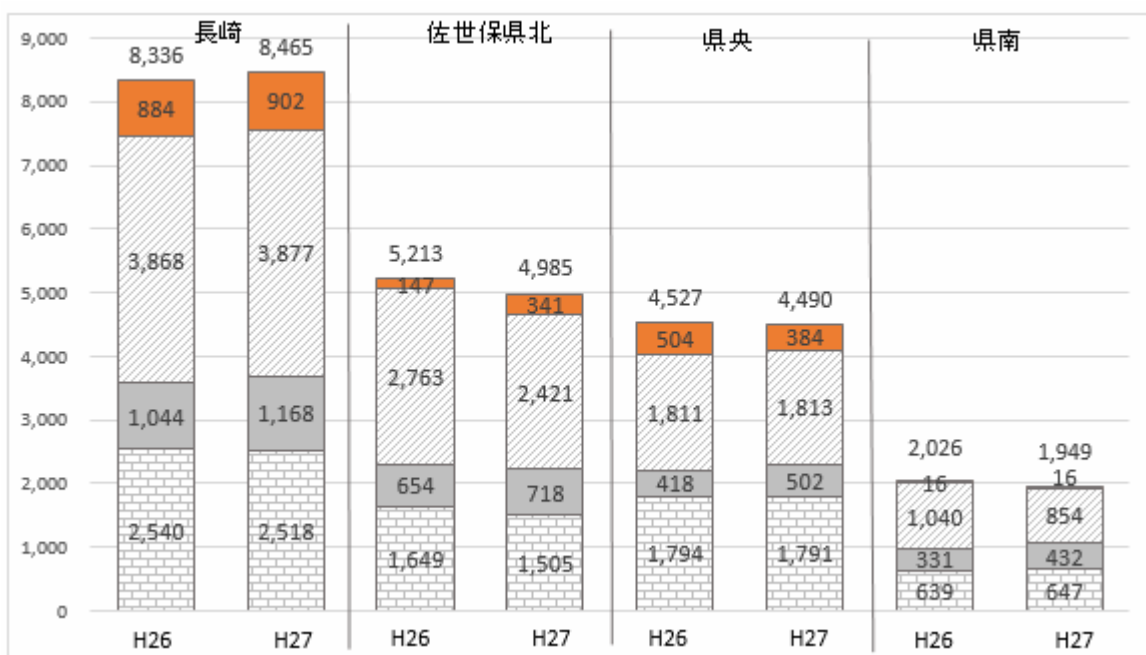
県全体

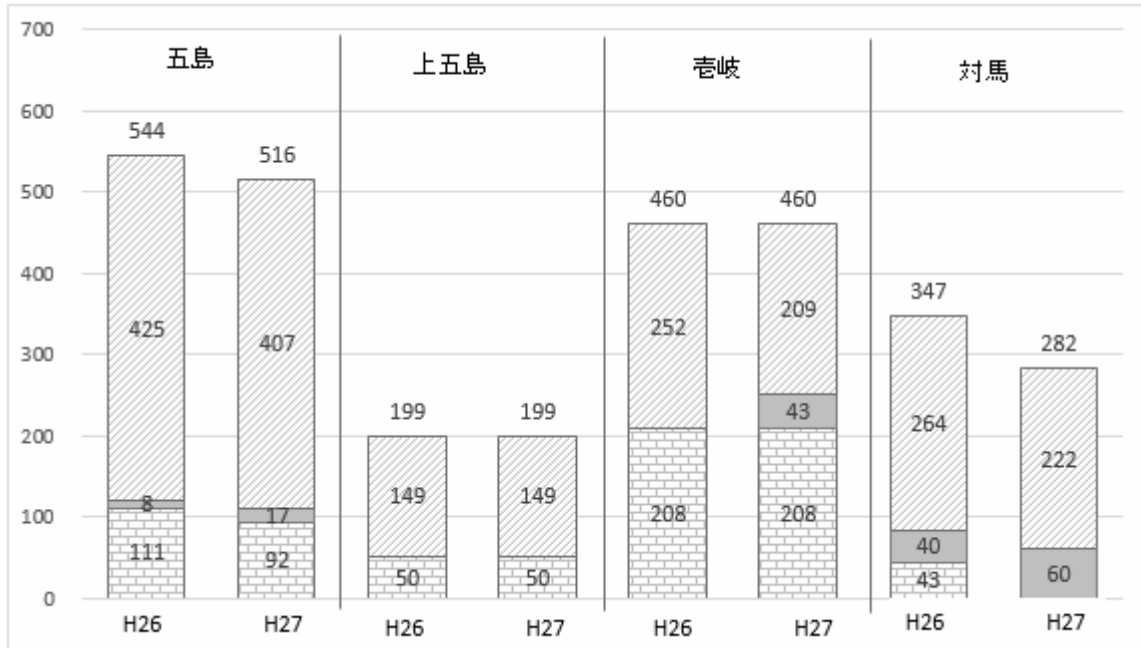
高度急性期 急性期 回復期 慢性期



構想区域別

構想区域別にみると、上五島区域以外のすべての構想区域で、回復期病床が増えている。





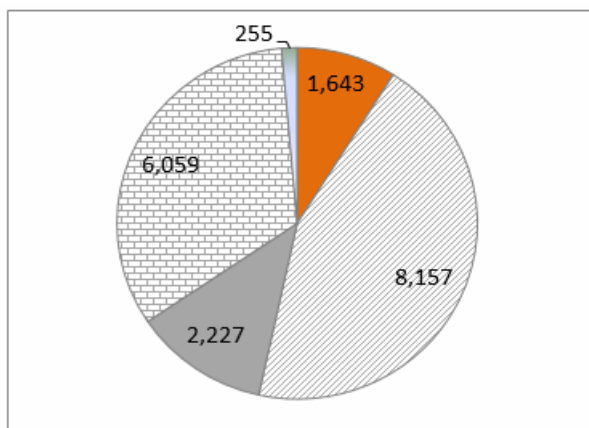
2. 医療機関の種類別の報告状況について

今年度から、「休棟中、休棟予定、廃止予定」という項目が追加され、全体の3%程度を占めている。

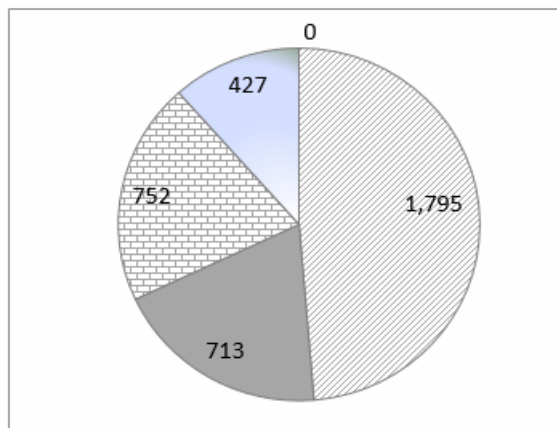
構想区域	報告医療機関数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	未回答(不明)	合計
長崎	134	902	3,877	1,168	2,518	233	34	8,732
佐世保県北	93	341	2,421	718	1,505	171	6	5,162
県央	80	384	1,813	502	1,791	192	41	4,723
県南	53	16	854	432	647	60	60	2,069
五島	13	0	407	17	92	4	19	539
上五島	2	0	149	0	50	0	0	199
壱岐	7	0	209	43	208	16	0	476
対馬	3	0	222	60	0	6	0	288
合計	385	1,643	9,952	2,940	6,811	682	160	22,188

病院と診療所の区分ごとにもみると、診療所において、「休棟中、休棟予定、廃止予定」が多くなっており、全体の約11%となっている。

病院



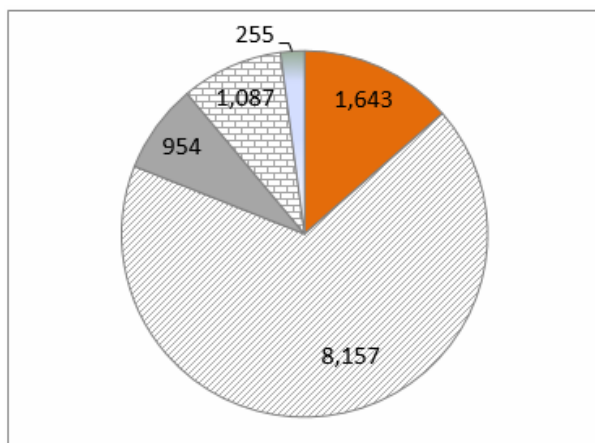
診療所



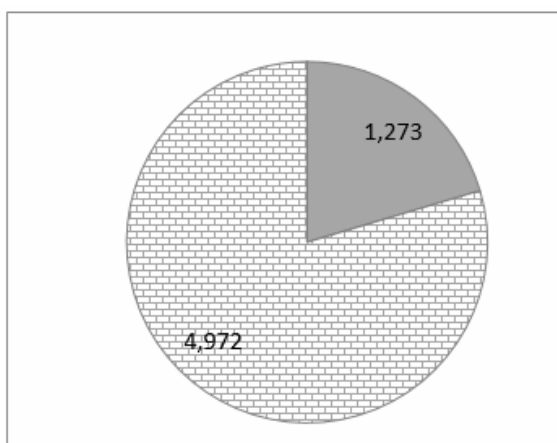
高度急性期
 急性期
 回復期
 慢性期
 休棟中、休棟予定、廃止予定

病院の一般病床と療養病床の報告状況を見ると、一般病床のうち約 81%が高度急性期、急性期と報告されている。また、療養病床では約 8 割が慢性期と報告されている。

一般病床（病院）



療養病床（病院）



構想区域	報告医療機関数	一般病床						医療療養病床					介護療養病床					合計
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	
長崎	134	902	3,835	502	594	212	6,045	28	575	1,762	21	2,386	14	91	162	0	267	8,698
佐世保県北	93	341	2,406	266	183	160	3,356	10	402	957	11	1,380	5	50	365	0	420	5,156
県央	80	384	1,778	410	687	180	3,439	23	86	1,009	8	1,126	12	6	95	4	117	4,682
県南	53	16	854	220	44	60	1,194	0	201	485	0	686	0	11	118	0	129	2,009
五島	13	0	407	17	38	4	466	0	0	54	0	54	0	0	0	0	0	520
上五島	2	0	143	0	0	0	143	0	0	50	0	50	6	0	0	0	6	199
壱岐	7	0	209	43	0	8	260	0	0	182	8	190	0	0	26	0	26	476
対馬	3	0	222	60	0	6	288	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288
	385	1,643	9,854	1,518	1,546	630	15,191	61	1,264	4,499	48	5,872	37	158	766	4	965	22,028